持ち運びできる机

班員　能戸　力也　　指導教員　長谷川先生

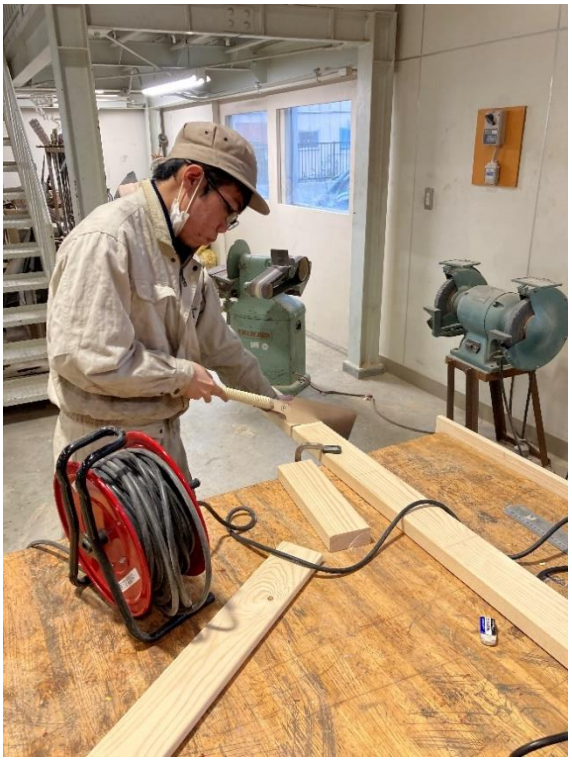
１．始めに

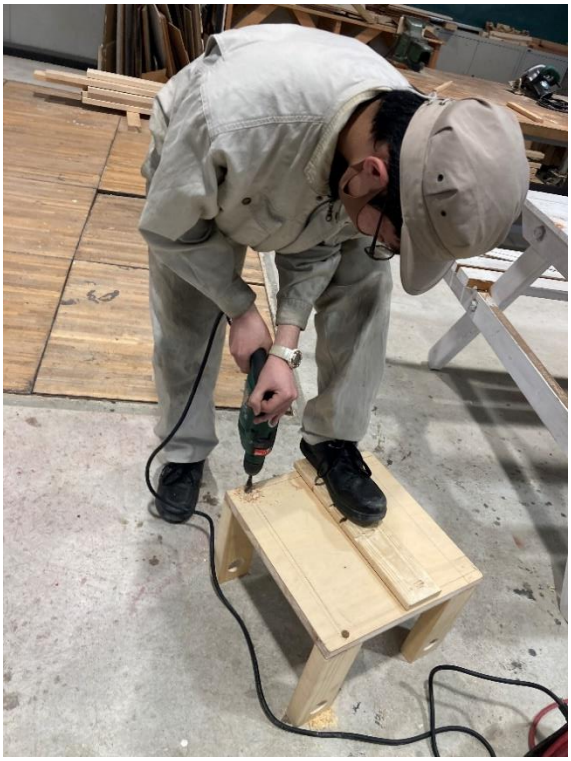
私は持ち運びできる机をつくりました。持ち運びできる机とは、上の台で勉強ができて、下の台には収納ができることを目的とした作品です。理由は、私生活で使える机を製作したかったからです。

２．研究内容

私は、最初にサンプル用の模型を製作してから実物の持ち運びできる机を製作しました。製作する上で苦戦した所は工具の使用です。ノコギリは引く時力をいれるのですがとても難しかったです。ドリルなどは振動に耐えるのに精一杯でした。

失敗した事もありました。それは、ダボ穴の位置と丸棒の削り過ぎです。
ダボ穴の位置は、開ける時に若干ずれていたので丸棒が真っ直ぐ入りませんでした。
丸棒は削り過ぎてしまった為ダボ穴より直径が小さくなり、木くずで埋めて修正しました。





３．終わりに

今回製作して思ったことは、最初に考える製作前のイメージを具体的にする事がとても大切だと思いました。